

## 7-7-5 自動運転対応SWG

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動目標

自動運転については現在、産学官のいずれの立場からも各種研究開発・実証実験等に取り組まれているが、国土交通省においては未来投資会議での議論等を踏まえ、この動向に的確に対応するため、平成28年12月に「国土交通省自動運転戦略本部」を立ち上げ、会合が開催されて、その実現に向けた環境整備、実証実験等が実施されている。

自動運転は国策的側面からも確実にその取り組み、普及が進むものと考えられるが、建設コンサルタンツ協会においても、このような動向に鑑み、自動運転の社会的有効性を見極めつつ、人口減少時代を迎え、変革を求められる社会資本整備への影響や、必要となる対応等を早い段階から明らかにしておく必要がある。

以上を踏まえ、協会内に標記のような情報収集・意見交換等の場を設け、今後の対応について検討して、情報データベース構築と運営体制の整備、行政への提言、民間協働の促進等を目指す。

### 2. 実績報告

#### (1) 第1回SWGの開催

年度途中からの活動であったが、平成30年2月16日に第1回を開催し、委員紹介・SWG設置の経緯・設立主旨の確認・具体的な活動内容・今後の対応等について協議した。

協議の結果、自動運転に関する情報整理のため、マトリクス（レベルと活用視点）を作成し、そこに体系化した情報を収集・整理することとした。またこの情報を分析して「自動運転の現状での課題」を抽出し、建設コンサルタンツ市場でのビジネスモデル等を検討するものとした。

#### (2) 第2回SWGの開催

自動運転に関する情報集約のために作成したマトリクスに関して、テーマ・レベル等を検証し、次に記載する事項と次年度に向けた具体的な活動計画等を協議した。

- ・マトリクスのテーマ・レベル・視点の検証
- ・各技術委員会との関わりの検討
- ・出口戦略と具体的な成果イメージの共有
- ・情報収集・行政への提言・民間協働の検討
- ・次年度スケジュール：4回/1年＋意見交換会

### 3. その他報告事項

#### (1) 意見交換会の実施について

自動運転に関して、産学官のいずれかより、各立場での動向・先進的な取り組み事例の照会・建設コンサルタンツ市場におけるビジネスモデル等について意見交換する場を設け、建設コンサルタントとしての取り組み方針を確定するものとする。

また、今後の自動運転に関する市場開拓での協働も視野に交流を深め、継続的な情報共有の場とすることを検討する。

### 4. 次年度の活動について

#### (1) 情報収集・発信と運営体制の検討

情報整理のためのマトリクスを検証・作成し、これをもとに情報収集するとともに、継続的な運営体制の構築と建設コンサルタンツ協会内外への情報発信についても検討する。

#### (2) 建設コンサルタンツ市場への提言

建設コンサルタントとしての自動運転に関する取り組み方針を確定し、ビジネスモデル構築をはじめ、市場への提言を目指す。

#### (3) 民間協働の促進

自動車・関連新興企業・ICT・地図・保険等の関係業界との連携を模索し、市場開拓に向けた民間協働の道筋を検討する。

#### (4) 意見交換会の開催

上記項目の推進を目的に、産学官のいずれかと意見交換の場を設け、交流を深める。また、実際に自動運転を体験する機会についても積極的に対応する。

(自動運転対応SWG委員長 藤井 久矢)